

平成 24 年 3 月 11 日 (日) 実施

## 第 31 回 建設業経理事務士検定試験 4 級 解説

### 〔第 1 問〕

- (1) (借) 現金 (資産) の増加 (貸) 資本金 (純資産) の増加  
建物 (資産) の増加  
「元手として」→資本金を計上
- (2) (借) 備品 (資産) の増加 (貸) 当座預金 (資産) の減少  
小切手の振り出しは当座預金を減少させる処理をする。
- (3) (借) 当座預金 (資産) の増加 (貸) 完成工事高 (収益) の増加
- (4) (借) 完成工事原価 (費用) (貸) 材料費 (費用)  
材料費を完成工事原価に振り替える。
- (5) (借) 旅費交通費 (費用) の発生 (貸) 現金 (資産) の減少  
本社事務員の通勤定期代は旅費交通費勘定で処理する。
- (6) (借) 労務費 (費用) の発生 (貸) 現金 (資産) の減少  
現場作業員の賃金は給料勘定ではなく労務費勘定で処理する。

### 〔第 2 問〕

#### 問 1

- (1) 日々の取引を借方・貸方の**勘定科目**と金額を用いて記録することを、**仕訳**といい、**仕訳**は**仕訳帳**に記録される。**仕訳帳**の記録は、**総勘定元帳**に設けられた各**勘定口座**に**転記**される。
- (2) 資金の貸付により生じる資産…貸付金 → 利息の受取「受取利息」  
資金の借入れによって生じる負債…借入金 → 利息の支払「支払利息」

#### 問 2

- A (借) 給 料 ××× (貸) 現 金 ×××  
給料 (費用) と現金 (資産) の取引 → 2.損益取引
- B (借) 当 座 預 金 ××× (貸) 借 入 金 ×××  
支 払 利 息 ××  
当座預金 (資産) と借入金 (負債) の取引 → 交換取引 ⇒ 3.混合取引  
支払利息 (費用) と借入金 (負債) の取引 → 損益取引
- C (借) 現 金 ××× (貸) 普 通 預 金 ×××  
現金 (資産) と当座預金 (資産) の取引 → 1.交換取引
- D (借) 建 物 ××× (貸) 当 座 預 金 ×××  
建物 (資産) と当座預金 (資産) の取引 → 1.交換取引
- E (借) 現 金 ××× (貸) 完 成 工 事 高 ×××  
現金 (資産) と完成工事高 (収益) の取引 → 2.損益取引

【第3問】

26日	(借)	現金	150,000	(貸)	当座預金	150,000
27日	(借)	旅費交通費	6,000	(貸)	現金	6,000
28日	(借)	経費	9,000	(貸)	当座預金	9,000
29日	(借)	現金	300,000	(貸)	完成工事高	300,000
30日	(借)	給料	150,000	(貸)	現金	150,000
31日	(借)	支払利息	5,000	(貸)	当座預金	5,000

※26日の「諸口」は1月25日までの諸取引を表します。

現金		完成工事高	
26 諸口	340,000	26 諸口	135,000
26 当座預金	150,000	27 旅費交通費	6,000
29 完成工事高	300,000	30 給料	150,000
当座預金		材料費	
26 諸口	723,000	26 諸口	38,000
26 現金	150,000	26 諸口	405,000
28 経費	9,000	26 現金	150,000
31 支払利息	5,000	28 経費	9,000
備品		労務費	
26 諸口	71,000	26 諸口	38,000
土地		外注費	
26 諸口	180,000	26 諸口	40,000
借入金		経費	
26 諸口	190,000	26 諸口	25,000
26 諸口	385,000	28 当座預金	9,000
資本金		給料	
26 諸口	580,000	26 諸口	120,000
		30 現金	150,000
通信費		事務用消耗品費	
26 諸口	2,000	26 諸口	1,000
旅費交通費		支払家賃	
26 諸口	5,000	26 諸口	15,000
27 現金	6,000	支払利息	
支払利息		26 諸口	2,000
26 諸口	2,000	31 当座預金	5,000
31 当座預金	5,000		

【第5問】

当期末において工事はすべて完成し、引き渡しは完了しているので、材料費・労務費・外注費・経費をすべて完成工事原価に振り替える

(借) 完成工事原価	449,000	(貸) 材	料	費	150,000
			労	務	費
			外	注	費
			雑		費
					76,000